

事後評価シート

調査研究課題名	通勤時の新型インフルエンザ対策に関する調査研究（首都圏）
担当者	前所長 西川健、前研究調整官 佐野透、元研究調整官 高田直和、 前主任研究官 諏訪達郎、前研究官 島広明、前研究官 佐藤真純、 前研究官 柴田久一郎
① 初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、通勤時のインフルエンザ対策として企業等に対策策定に役立つデータを提供することを目的とし、路線別・区間別・時間帯別の輸送人員に対する抑制輸送力の比率（縮減率）の算定、インターネットアンケート調査を踏まえた首都圏への通勤流動の推計、輸送人員抑制策による感染拡大抑制効果評価シミュレーション等を行った。担当行政機関、交通事業者、経済関係団体等にこれらの調査結果を提示することができ、当初の目的を達成することができた。</p>
②調査研究内容の妥当性	<p>算定した路線別・区間別・時間帯別の抑制輸送力（あるいは縮減率）をもとに、JR山手線内の企業が自主通勤計画を策定することができるか等についてアンケート調査を実施し、輸送人員抑制策が実現できるのかを検証することができた。</p>
③調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究の開始時に、有識者から意見を聞き、それを反映させた上で調査研究を進めることができた。</p>
④成果と活用	<p>調査結果を当研究所のホームページ等で公表し、企業等に成果を有効に活用してもらおう。また、関係省庁において、今後の新型インフルエンザ対策のための基礎資料として活用してもらおう。</p>
⑤その他	<p>第1回アドバイザー会議がフジテレビ（平成20年9月8日）、TBS（同）、日経産業新聞（平成20年9月10日）、TACTA（平成20年10月）に取り上げられた。</p>